

<専任教員報告>

2016 年度教員活動報告

中村桂子 准教授

I. 教育

- (1) 担当科目：「核兵器とは何か」(全学モジュール I 「核兵器のない世界を目指して」)
- 「市民運動・NGO と核兵器廃絶」(全学モジュール II)
 - 「原爆医学概論」(オムニバス)
 - 「紛争と平和」(多文化社会学部) (オムニバス)
 - 「軍縮と平和」(多文化社会学部) (オムニバス)

II. 研究

- (1) 主要研究テーマ
- 核軍縮・不拡散をめぐる多国間協議の動向
 - 核兵器廃絶に向けた市民社会の取り組み
- (2) 著書・論文・学会誌寄稿など
- 「核兵器をめぐる 5 つの神話」(第 4 章、第 5 章翻訳)、ウォード・ウィルソン 著、黒澤満監修、法律文化社、2016 年 5 月
 - 中村桂子『核兵器の法的禁止と市民社会』、吉川元、水本和実編、『なぜ核はなくならないのか II』、法律文化社、2016 年 8 月, pp.186-202
 - 中村桂子「世界の潮流は“核兵器禁止”被爆 71 年 日本の姿勢こそ問われている」、『まなぶ』(714)、労働大学出版センター、2016 年 8 月、pp.52-58
 - 中村桂子「米首脳の新被爆地訪問」、共同通信配信、福井新聞等多数、2016 年 4 月 13 日
 - 中村桂子「核軍縮の国連作業部会」、長崎新聞、2016 年 6 月 4 日
 - 中村桂子「オバマ広島訪問後の課題」、RECNA ポリシーペーパー第 5 号、2016 年 8 月、pp.10-13
- (3) 学会活動
- 「国連公開作業部会での議論と今後の展望：市民社会の観点から」、2016 年度日本軍縮学会研究大会「フロンティア部会」での発表、2016 年 4 月 9 日、青山学院大学
- (4) その他
- 講演「核兵器を巡る世界と日本の課題」、沖縄平和運動フォーラム・ビキニデー

学習会、2016年3月1日。

- 講演「世界の核軍縮動向」、反核医師の会・長崎フィールドワーク研修、2016年6月11日
- 講演「核軍縮をめぐる世界と日本のいま」、連合主催学習会、2016年7月30日
- 講演 “Recent developments toward a nuclear weapon free world,”立命館大学主催「ヒロシマ・ナガサキ平和講座」、2016年8月8日
- 「ひろしまユースフォーラム」(広島県主催)コーディネーター、2016年8月21日～23日
- 講演「核兵器をめぐる現状と今後へのアプローチ」、ピースアクション in なら2016、2016年9月17日
- 講演「北東アジア非核兵器地帯の創設に向けて」、日本反核法律家協会意見交換会、2016年11月11日
- 講演「核兵器をめぐる現状と課題」、原水禁学習会、2016年11月25日
- 講演「北東アジアを非核地帯に」、神奈川県秦野市主催第39回平和を考えるフォーラム、2017年3月6日
- 2016年「国連公開作業部会」(2016年5月、8月)、ジュネーブ欧州国連本部参加
- RECNA ウェブサイト用の英文資料翻訳
- RECNA 核弾頭データ追跡チーム・コーディネーター

III. 地域貢献

(1) 地域活動

- 講演 平成28年度核兵器廃絶市民講座、「核兵器廃絶に向けて～非核兵器国の役割～」、2016年9月10日
- 立命館大学・アメリカン大学スタディツアー学習会、“Towards a Nuclear Weapon-Free World” 講演、2016年8月8日
- 講演「世界の現状と私たちにできること」、長崎県立北高校、2016年8月9日
- 国連軍縮会議「ユースフォーラム」コーディネーター、2016年12月11日
- 講演「核兵器禁止に向けた世界の動きと日本の役割」、日本非核宣言自治体協議会平成28年度第2回研修会(高松市)、2017年1月27日
- 講演「長崎の”声“をさらなる力とするために」、地球市民集会長崎実行委員会主催シンポジウム「これからの核兵器廃絶市民運動の課題」、2017年2月4日
- 「長崎平和学生会議」(長崎県主催)企画運営補助、コーディネーター、2017年2月
- 講演「北東アジアの非核化に向けて」、長崎県教職員組合学習会、2017年2月11日

- 核兵器廃絶長崎連絡協議会「ナガサキ・ユース代表団」の企画運営、事前学習及びRECNA サポーター活動に関する支援・協力

(2) 外部委員

- 核兵器廃絶長崎連絡協議会 (PCU-NC) 委員
- 日本軍縮学会編集委員